

教 科	保健体育	単位数	2単位	対象	1年次	選択群	
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	イラストでみる 最新スポーツルール'23 (大修館)		履修	☑履修・選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。併せて、体力の向上を図り、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。</p>			<p>・運動の楽しさや喜びを深く味わい、自主的に取り組むことができる。 ・自己や仲間の課題に応じた合理的、計画的な運動に取り組むことができる。 ・自ら健康・安全を確保できる。 ・公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。</p>			<p>・1年次生全員が履修します。</p>	
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月	・集団行動・体 づくり運動 ・体育理論	・集団走、隊形、体づくり運動 各種トレーニング ・スポーツの歴史、文化的特性	・集団走、各種の体ほぐし、新体力テストトレーニング			
	5月			・スポーツの歴史的発展と変容 ・スポーツの技術、戦術、ルールの変化 ・各種目の基礎的技能、応用技能の習得及びゲーム、審判法			
	6月	・選択 1	・ソフトボール・柔道 ・バレーボール・テニス ・バドミントン				
	7月						
	9月	・体づくり運動 ・選択 2	・体づくり運動 ・サッカー・柔道 ・バスケットボール・卓球 ・バドミントン・ダンス	・各種の体ほぐしと体力を高める運動 ・各種目の基礎的技能、応用技能の習得及びゲーム、審判法			
	10月						
	11月	・陸上競技	・長距離走	・持久走記録会に向けての長距離走			
	12月	・選択 2					
	1月	・選択 3 ・体育理論	・バスケットボール ・サッカー・卓球 ・バドミントン ・現代スポーツの特徴	・各種目の基礎的技能、応用技能の習得及びゲーム、審判法			
	2月			・オリンピックムーブメントとドーピング ・スポーツの経済的効果とスポーツ産業			
	3月						
	学習方法	<p>【予習】 教科書や副教材を読んで、各種目の特性を理解し、運動法を研究しましょう。                  【授業】 説明をよく聞き、積極的に体を動かしましょう。                  【復習】 その日の実施内容を反省し、次の授業に生かしましょう。</p>					
評 価 の 観 点 ・ 評 価 規 準 ・ 評 価 方 法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<p>○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。</p> <p>○技能 ・球技では、状況に応じたボール操作や空間を埋めるなどの動や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</p>		<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。</p>		<p>・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。</p>		
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末
	<p>※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。</p>		<p>知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3</p>		<p>知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3</p>		1・2・3学期の平均
備 考	<p>・選択種目は時期・施設を考慮し、3パターンで実施します。 ・技能評価は新体力テストを含めたり、各種目ごとに実施します。</p>						

体育							総合学科			
教科	保健体育	単位数	2単位	対象	2年次	選択群				
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)			副教材等	イラストでみる 最新スポーツルール'22 (大修館)		履修	必履修・選択		
授業の概要				学習の到達目標			履修の条件・進路			
各種の運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。合わせて、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てます。				・各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができる。 ・体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができる。			・2年次生全員が履修します。			
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容					
	4月	・集団行動 ・体づくり運動	・集団走、隊形、体づくり運動各種 トレーニング		・集団走、体ほぐしの運動					
	5月	・球技Ⅰ選択	・運動・スポーツの学び方 ・ベースボール型（ソフトボール） ・ネット型（テニス）		・新体力テストトレーニング ・状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレイによって 攻防を展開する。					
	6月		・ネット型（バレーボール）		・パートナーと連携し、コースや球種を打ち分けるスト ロークによって攻防を展開する。					
	7月	・体育理論	・運動スポーツの学び方		・ポジションの枠割りや状況に応じたコンビネーション プレイによって攻防を展開する。 ・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術					
	9月	・体づくり運動 ・球技Ⅱ選択	・体づくり運動 ・ゴール型（サッカー）		・体ほぐしの運動と体力を高める運動 ・意図的にスペースをつくって、そのスペースを使う攻 撃とその攻撃に対するゴール前の攻防を展開する。					
	10月		・ゴール型（バスケットボール）		・ポストプレイなどによってスペースを埋め、攻防を展開 する。					
	11月		・ネット型（卓球）		・コースや球種を使い分けるストロークとその予測によ って、フットワークをいかした攻防を展開する。					
	12月	・陸上競技 ・体育理論	・長距離走 ・運動スポーツの学び方		・ペースの変化に対応して走る。 ・技能の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム					
	1月	・球技Ⅲ選択	・ゴール型（サッカー、バスケ） ・ネット型（バドミントン）		・試合方法やルールを工夫して競技会を開催する。 ・パートナーと連携し、コースや球種を使い分けるスト ロークとその予測によって攻防を展開する。					
	2月		・運動・スポーツの学び方		・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全確保					
	3月	・体育理論								
学習方法	【予習】 教科書や副教材を読んで、各種目の特性を理解し、運動法を研究しましょう。 【授業】 説明をよく聞き、積極的に体を動かしましょう。 【復習】 その日の実施内容を反省し、次の授業に生かしましょう。									
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○技能 ・球技では、状況に応じたボール操作や空間を埋めるなどの動や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。			・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。			・球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイをたいせつにしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。			
評価方法	評価方法			第1・2学期			第3学期			年度末
	※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。			知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3			知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3			1・2・3学期の平均
備考	・各学年ともに球技の選択種目は時期を考慮して実施します。 ・技能評価は新体力テストを含めたり、各種目毎に実施します。									

体育

総合学科

教科	保健体育	単位数	3単位	対象	3年次	選択群		
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	イラストでみる 最新スポーツルール'22 (大修館)		履修	必履修・選択	
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
<p>各種の運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。合わせて、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質と能力を育てます。</p>			<p>・各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができる。 ・体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができる。</p>			<p>・3年次生全員が履修します。</p>		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容			
	4月	1 体づくり運動	1 オリエンテーション 2 体ほぐしの運動	1 オリエンテーション 1 基本姿勢・集団行動 2 体力、柔軟性を高める運動				
	5月	2 球技（ネット型 ・ベースボール型）	1 ソフトボール	1 個人技能の習得				
	6月		1 バレーボール	2 集団技能の習得				
	7月	3 体育理論	1 卓球	3 簡易ゲーム 4 ゲームと審判法				
	9月		1 スポーツを推進する取り組み	1 日本のスポーツ推進の歩み				
	10月	4 球技（ネット型 ・ゴール型）	1 サッカー	1 個人技能の習得				
	11月		2 バasketボール	2 集団技能の習得				
	12月	5 陸上競技	3 卓球	3 簡易ゲーム				
	1月		4 テニス	4 ゲームと審判法				
	2月	6 体育理論	1 長距離走	1 体力づくり 2 インターバルトレーニング 3 持久的トレーニング 4 長距離走（3km～4km） 5 長距離走記録会（3km～4km）				
	3月		1 豊かなスポーツライフの取り組み	1 豊かなスポーツライフの創造のために				
	1月	7 球技（ネット型 ・ゴール型）	1 サッカー	1 個人技能の習得				
2月	2 バドミントン		2 集団技能の習得					
3月	課題学習	3 卓球	3 簡易ゲーム					
3月		4 テニス	4 ゲームと審判法					
学習方法	<p>【予習】 教科書や副教材を読んで、各種目の特性を理解し、運動法を研究しましょう。 【授業】 説明をよく聞き、積極的に体を動かしましょう。 【復習】 その日の実施内容を反省し、次の授業に生かしましょう。</p>							
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	<p>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ・球技では、状況に応じたボール操作や空間を埋めるなどの動や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。</p>		<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p>		<p>・球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイをたいせつにしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどを行ったり、健康・安全を確保している。</p>			
評価方法	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末	
	※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		1学期：2学期：3学期＝2：2：1の割合で評定する。	
備考	<p>・各学年ともに球技の選択種目は時期を考慮して実施します。 ・技能評価は新体力テストを含めたり、各種目毎に実施します。</p>							

保健

総合学科

教科	保健体育	単位数	1単位	対象	1年次	選択群		
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)			副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)		履修	必履修・選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
教科書と副教材を中心に授業を行います。また視聴覚機器の利用、調べ学習やロールプレイング、ディベートなど生徒が主体的に学習できるように実践内容を工夫、理解の定着を目指します。			・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。			・1年次生全員が履修します。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容			
	4	1 現代社会と健康	1	健康の考え方と成り立ち	・健康についての考え方、健康の成立要因			
	5		2	私たちの健康のすがた	・わが国の健康水準の変化とその背景			
	6		3	生活習慣病とその予防と回復	・生活習慣病の種類と要因、予防方法			
	7		4	がんの原因と予防	・がんの種類と要因、予防方法			
			5	がんの治療と回復	・がんのおもな治療法や緩和ケア			
			6	運動と健康	・健康と運動の関係			
			7	食事と健康	・食事と健康の関係			
			8	休養・睡眠と健康	・健康と休養の関係・健康と睡眠の関係			
			9	喫煙と健康	・喫煙の健康影響と対策			
			10	飲酒と健康	・飲酒の健康影響と対策			
	9	2 安全な社会生活	11	薬物乱用と健康	・薬物乱用が及ぼす心身の健康や社会への影響			
	10		12	精神疾患の特徴	・精神疾患の種類と要因、現代社会における課題			
	11		13	精神疾患の予防	・精神疾患の予防			
	12		14	精神疾患からの回復	・精神疾患の治療や回復			
	15		現代の感染症	・感染症の種類と要因				
	16		感染症の予防	・感染症の予防対策3原則				
	17		性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズの予防とその対策				
	18		健康に関する意思決定・行動選択	・意思決定・行動選択に影響を与える要因				
1	2 安全な社会生活	1	事故の現状と発生要因	・事故の実態と発生要因				
2		2	安全な社会の形成	・安全のために必要な要因				
3		3	交通における安全	・交通事故防止、交通事故における3つの責任				
		4	応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義とその手順				
		5	日常的な応急手当	・日常的な応急手当の手順や方法				
		6	心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法や手順				
学習方法	<b>【予習】</b> 教科書の該当ページを読んで内容を把握し、わからないところをチェックしましょう。 <b>【授業】</b> 説明をよく聞き理解しましょう。また、疑問点等はその時間中になるべく解決しましょう。 <b>【復習】</b> その日の学習内容について、ノートの問題を解きましょう。							
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	・健康を保持増進するために健康に関して深い認識を持ち、自らの健康を適切に管理することが重要であることを理解し、実践しようとしている。 ・事故の発生には、人的要因及び環境要因が関わることを踏まえ、個人や社会の取組が求められることを理解し、危険回避の方法を実践しようとしている。		・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。			・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・安全な社会生活についての学習に取り組もうとしている。		
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末	
A：知識・技能（考査・小テスト、実技等） B：思考・判断・表現（考査、レポート等） C：主体的に学習に取り組む態度（ノート、提出物、授業態度等）		A：40点 B：30点 C：30点		A：40点 B：30点 C：30点		1, 2, 3学期の平均		
備考								

		保健				総合学科				
教科	保健体育	単位数	1 単位	対象	2 年次	選択群				
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)			副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)		履修	☑履修・選択		
授業の概要				学習の到達目標			履修の条件・進路			
教科書と副教材を中心に授業を行います。また視聴覚機器の利用、調べ学習やロールプレイング、ディベートなど生徒が主体的に学習できるように実践内容を工夫し、理解の定着を目指します。				・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。			・2年次生全員が履修します。			
学習の年間計画	月	単元名	項目	学 習 内 容						
	4	3 生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージと健康の関連</li> <li>・思春期における体の変化</li> <li>・性意識の男女差について</li> <li>・妊娠・出産の家庭における健康課題</li> <li>・家庭計画の意義と適切な避妊法</li> <li>・心身の発達と結婚生活</li> <li>・加齢にともなう心身の変化</li> </ul>						
	5		2 思春期と健康							
	6		3 性意識と性行動の選択							
7	4 妊娠・出産と健康									
8	5 避妊法と人工妊娠中絶									
9	6 結婚生活と健康									
10	7 中高年期と健康									
11	4 健康を支える環境づくり	8 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義と健康とのかかわり</li> <li>・労働災害の種類とその原因</li> <li>・職場がおこなう健康にかんする取り組み</li> <li>・大気汚染の原因と健康への影響</li> <li>・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響</li> <li>・環境汚染による健康被害を防ぐ方法、産業廃棄物の処理</li> <li>・ごみの処理の現状やその課題、上下水道のしくみと健康</li> </ul>							
12		9 労働災害と健康								
1		10 健康的な職業生活								
2		11 健康を支える環境づくり								
3	5 食品の安全性	6 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性と健康</li> <li>・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割</li> <li>・保健行政の役割、保健サービスの活用</li> <li>・わが国における医療保険のしくみ</li> <li>・医薬品の正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組み</li> <li>・国際機関・民間機関などの保健活動</li> <li>・健康の保持増進のための環境づくり</li> </ul>							
4		7 保健サービスとその活用								
5		8 医療サービスとその活用								
6		9 医薬品の制度とその活用								
7		10 さまざまな保健活動や社会的対策								
8	11 健康に関する環境づくりと社会参加									
学習方法	<p>【予習】 教科書の該当ページを読んで内容を把握し、わからないところをチェックしましょう。</p> <p>【授業】 説明をよく聞き理解しましょう。また、疑問点等はその時間中になるべく解決しましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について、ノートの問題を解きましょう。</p>									
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階の健康課題の応じた自己の健康課題及び環境づくりが関わっていることを理解している。</li> <li>・人々が健康に生きていくためには、周囲の自然環境や食品に関する健康問題を理解し、社会の制度や保健活動といった社会環境の在り方も重要であることを理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を通じる健康に関する情報や健康を支える環境づくりに関する情報などから課題を発見し、健康に関する原則や外燃に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・健康を支える環境づくり用づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>			
	評価方法	第1・2学期			第3学期			年度末		
A：知識・技能（考査・小テスト、実技等） B：思考・判断・表現（考査、レポート等） C：主体的に学習に取り組む態度（ノート、提出物、授業態度等）	A：40点 B：30点 C：30点			A：40点 B：30点 C：30点			1, 2, 3学期の平均			
備考										

スポーツ概論

総合学科

教科	保健体育	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	P②群		
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）			副教材等	スポーツ概論（大修館）		履修	必修修・ <input checked="" type="checkbox"/> 選択	
授業の概要				学習の到達目標			履修の条件・進路		
(1) スポーツの文化的 特性や現代におけるスポーツの発展 (2) スポーツの効果的な学習の仕方 (3) 豊かな スポーツライフの設計の仕方 (4) スポーツの多様な指導法と健康・安全 (5) スポー ツの企画と運営				・スポーツの魅力が理解でき、生涯にわたってかかわっていくことができる。 ・スポーツは心と体を育て、仲間を作るということが理解できる。 ・運動技能を高める練習や体力トレーニングの方法の実際が理解できる。			・スポーツの意味やすばらしさを学ぼうと思う生徒 ・体育系の大学進学を希望している生徒を対象とします。		
月	単元名	項 目		学 習 内 容					
学 習 の 年 間 計 画	4 5	1 スポーツについて考えよう	1 スポーツの魅力について考えよう 2 スポーツのこれからとこれまでを考えよう 3 現代スポーツの問題点を考えよう 4 スポーツと社会について考えよう	・競技・生涯スポーツの魅力と楽しみ方 ・スポーツの起源 ・スポーツの変容と発展とこれから ・競技スポーツ、生涯スポーツの問題点 ・スポーツの持続的発展と環境問題 ・スポーツとグローバル化 ・スポーツと振興政策と経済 ・競技力を構成する諸要素の関係 ・技能・戦術能の上達過程とトレーニング法 ・合理的なトレーニング計画 ・球技、採点競技、測定競技					
	6 7	2 スポーツの競技力を向上させよう	1 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう  2 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう	・競技力と精神力の関係 ・実力発揮のメンタルトレーニング ・競技力向上に向けた指導体制と情報戦略について知ろう ・練習やトレーニングによる身体の変化 ・目的に応じたトレーニングプログラム作成 ・筋力、持久力、調整力、柔軟性トレーニング ・体調管理とアップとダウン ・スポーツ現場での応急処置とテーピング ・スポーツ外傷、障害、内科的障害とリハビリ ・スポーツ栄養の基礎、栄養摂取方法 ・危険予知トレーニング、KYTの進め方					
	9 10	2 スポーツの競技力を向上させよう 3 体力トレーニングをやってみよう	3 メンタルトレーニングについて知ろう 4 競技力に向けた指導体制や情報戦略について知ろう	・競技力と精神力の関係 ・実力発揮のメンタルトレーニング ・競技力向上に向けた指導体制と情報戦略 ・練習やトレーニングによる身体の変化 ・目的に応じたトレーニングプログラム作成 ・筋力、持久力、調整力、柔軟性トレーニング ・体調管理とアップとダウン ・スポーツ現場での応急処置とテーピング ・スポーツ外傷、障害、内科的障害とリハビリ ・スポーツ栄養の基礎、栄養摂取方法 ・危険予知トレーニング、KYTの進め方					
	11 12	4 スポーツライフのマネジメントを考えよう	1 体力向上の科学的基礎について知ろう 2 体力トレーニングの方法を知ろう	・競技力と精神力の関係 ・実力発揮のメンタルトレーニング ・競技力向上に向けた指導体制と情報戦略 ・練習やトレーニングによる身体の変化 ・目的に応じたトレーニングプログラム作成 ・筋力、持久力、調整力、柔軟性トレーニング ・体調管理とアップとダウン ・スポーツ現場での応急処置とテーピング ・スポーツ外傷、障害、内科的障害とリハビリ ・スポーツ栄養の基礎、栄養摂取方法 ・危険予知トレーニング、KYTの進め方					
	1 2 3	5 スポーツ指導者を 目指そう 課題学習	1 自分の体をマネジメントしよう 2 栄養でパフォーマンスを高めよう 3 危険予知トレーニングについて知ろう	・スポーツキャリアと職業を知ろう ・学校における体育・スポーツ活動やイベントについて知ろう ・スポーツクラブについて知ろう ・効果的なスポーツ指導法を知ろう ・スポーツキャリア、職業とタイプ ・学校体育、スポーツ活動・イベントとは ・地域のスポーツクラブとは ・効果的なスポーツ指導者の基礎的条件					
	学習方法	【予習】 教科書をよく読み理解しましょう。 【授業】 説明をよく聞き理解しましょう。また、疑問点等はその時間中になるべく解決しましょう。 【復習】 その日の学習内容について出される課題について、必ず解き、確実に理解しましょう。							
	評価の観点・評価規準・評価方法	知識		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
		・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 ・運動やスポーツの効果的な学習について理解している。 ・豊かなスポーツライフの設計を理解し自己の行動計画を作成することができている。 ・スポーツの多様な指導法と健康・安全について理解している。		・スポーツの物価の特性や現代スポーツの発展について、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様なかわり方において、スポーツを推進発展させる視点から課題を発見し、より解決に向けて試行し判断するとともに、理由を添えて他者に伝えようとしている。			・スポーツの文化的特徴や現代スポーツの発展についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・スポーツの多様な指導法と健康・安全についての学習に主体的に取り組もうとしている。		
		評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末	
	A：知識・技能（考査・小テスト、実技等） B：思考・判断・表現（考査、レポート等） C：主体的に学習に取り組む態度（ノート、提出物、授業態度等）		A：40点 B：30点 C：30点		A：40点 B：30点 C：30点		1, 2, 3学期の平均		

スポーツ I

総合学科

教科	体育	単位数	2 単位	対象	2 年次	選択群	J ①群
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	イラストでみる 最新スポーツルール'22 (大修館)		履修	必履修・ <b>選択</b>
授業の概要		学習の到達目標			履修の条件・進路		
採点競技及び測定競技の理解と運動の実践を行います。採点競技と測定競技は、それぞれの競技に定められたルールや条件のもとで演技のできばえ、時間、距離及び高さを競い合うところに特徴があります。ここでは、体操競技、陸上競技、筋力トレーニングを中心に学習します。		<ul style="list-style-type: none"> <li>採点競技及び測定競技の特性を理解し、計画的な実践を通して、高度な技能と審判法を習得することができる。</li> <li>自己に適した目標や課題をもち、自己の能力を最高度に発揮することができる。</li> <li>公正、協力、責任などの態度や安全に練習する態度を身に付けることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>採点競技及び測定競技に興味があり、これらの競技における運動能力や体力を高めようとする人や、体育系の大学進学を目指す人が履修します。</li> </ul>		
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目		学 習 内 容		
	4 月	・陸上競技	・ 短距離走		<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートの技術</li> <li>加速走</li> <li>記録測定</li> <li>助走と踏み切り</li> <li>空中動作の練習</li> <li>記録測定</li> </ul>		
	5 月		・ 走り幅跳び		<ul style="list-style-type: none"> <li>記録測定</li> <li>ハードリングの技術</li> <li>インターバルのリズム練習</li> <li>記録測定</li> </ul>		
	6 月		・ ハードル		<ul style="list-style-type: none"> <li>インターバルのリズム練習</li> <li>記録測定</li> <li>助走方法と空中フォーム</li> <li>記録計測</li> </ul>		
	7 月		・ 走り高跳び				
	9 月	・陸上競技	・ リレー		<ul style="list-style-type: none"> <li>バトンパスの技術</li> <li>記録計測</li> </ul>		
	10 月		・ やり投げ		<ul style="list-style-type: none"> <li>やりの持ち方と投げ方</li> <li>記録測定</li> </ul>		
	11 月		・ 円盤投げ		<ul style="list-style-type: none"> <li>円盤の持ち方と投げ方</li> <li>記録測定</li> </ul>		
	12 月		・ 砲丸投げ		<ul style="list-style-type: none"> <li>砲丸の持ち方と投げ方</li> <li>記録測定</li> </ul>		
	1 月	・陸上競技	・ 競歩		<ul style="list-style-type: none"> <li>歩き方とフォーム</li> <li>記録測定</li> </ul>		
	2 月		・ 中距離走		<ul style="list-style-type: none"> <li>インターバルトレーニング</li> <li>フォームの特徴</li> <li>記録測定</li> </ul>		
	3 月		・ 長距離走		<ul style="list-style-type: none"> <li>フォームの特徴</li> <li>ペース走</li> <li>記録測定</li> </ul>		
学習方法	<p>【予習】 毎時間目標を設定しましょう</p> <p>【授業】 説明をよく聞き理解し、実践していきましょう。</p> <p>【復習】 学習内容の反省を行い次の時間に生かしましょう。</p>						
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識                             <ul style="list-style-type: none"> <li>技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。</li> </ul> </li> <li>○技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>競技力の向上を目指し、自己の目標や課題に応じた技能を身につけることができる。</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、事故や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>		
※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。	評価方法		第 1・2 学期		第 3 学期		年度末
			知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		1・2・3 学期の平均
備考	3 人以上で開講						



スポーツⅢ

総合学科

教科	保健体育	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	S①群	
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	イラストでみる 最新スポーツルール'22 (大修館)		履修	必履修・ <b>選択</b>	
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
武道の理解を深め、礼法にも重きを置き自己の能力に応じて計画的に練習や試合を行います。素手または用具を用いて1対1で相対し、互いに相手の動きに応じて攻防する格闘技形式の運動が武道の特性です。ここでは、柔道を中心に学習します。また、昇段試験の挑戦も可能です。			・武道の特性を理解し、計画的な実践を通して、高度な技能と審判法を習得する。 ・相手を尊重して礼儀正しく公正に試合をする態度、禁止事項を守り、用具や服装、練習場等の安全を確かめるなど安全に運動を行う態度を育てる。			・日本古来の武道に興味があり武道における運動能力や体力を高めようとする人 ・体育系の大学進学を目指す人		
学習の年間計画	月	単元名	項目		学習内容			
	4月	・柔道	1 基本動作		1 礼法 2 姿勢と組み方 3 体さばきとくずし 4 受け身 (1) 後ろ受け身 (2) 横受け身 (3) 前回り受け身			
	5月		2 対人技能 (投げ技)		1 基本となる投げ技 (1) 支え技系 膝車・支え釣り込み足 (2) 刈り技系 小内刈り・大内刈り・大外刈り (3) まわし技系 体落とし・大腰・背負い投げ			
	6月		3 対人技能 (固め技)		1 基本となる固め技 けさ固め・横四方固め・上四方固め			
	7月		4 対人技能 (約束稽古)		1 立ち技のみ・寝技のみの約束稽古			
	9月		5 対人技能 (連絡変化技)		1 投げ技の連絡 大内刈りから大外刈り・大内刈りから背負い投げ 2 投げ技から固め技への連絡 大外刈りからけさ固め 3 固め技の連絡 けさ固めから肩固め			
	10月		6 対人技能 (自由稽古)		1 自由稽古			
	11月		6 ルールと審判法		1 試合の進め方 2 勝負の判定基準 3 審判員の動作			
	12月		7 試合		1 正規の審判規定を適用した試合 2 リーグ戦			
	1月							
	2月							
	3月							
学習方法	【予習】 毎時間目標を設定しましょう。 【授業】 説明をよく聞き理解し、実践していきましょう。 【復習】 学習内容の反省を行い次の時間に生かしましょう。							
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	○知識 ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり抑えたり、返したりするなどの攻防をすることができる。		・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			・武道に主体的に取り組むとともに相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。		
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末	
※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		1・2・3学期の平均		
備考	・同性が複数人で開講。(寝技、乱取りができないため)							

スポーツIV

総合学科

教科	保健体育	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	R②群						
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）			副教材等	イラストでみる最新スポーツルール'22（大修館）		履修	必修修・ <b>選択</b>					
授業の概要				学習の到達目標			履修の条件・進路						
(1) 創造型ダンスへの多様な関わり方, (2) 伝承型ダンスへの多様な関わり方 ダンスの特性の理解、作品創作、踊りこみ、発表を行ったり、各国の民謡から歴史や地域、風洞などの背景や情景を調べたり、仲間と踊ったりして、全身を使って表現できるように、目標を持って、計画的な練習をしていきます。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの特性を学んだり調べたりして、踊ることができる。</li> <li>・全身を使って自由に表現したり、伝承された踊りを身に付けたりすることができる。</li> <li>・高度な技能を身に付け、一人ひとりの個性を生かした表現や作品をまとめて発表できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を表現することに関心がありさまざまなダンスに興味をもって取り組めること。</li> <li>・体育系の進学を希望している生徒を対象とします。</li> </ul>						
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容									
	4月	1 基本動作	1 ダンスの基本を知る	1 基本ストレッチ&リズム 2 基本アイソレーション 3 オリジナルストレッチ作り 4 発表会・鑑賞会									
	5月	2 フォークダンス	1 フォークダンスの世界を知る 2 いろいろなフォークダンスを踊る	1 世界各地のフォークダンスの歴史と文化 2 調査・研究・発表 1 フォークダンスの選曲・練習 2 披露・発表会									
	6月			3 創作ダンス	1 いろんな感情を身体で表現する	1 表現方法 2 コンテポラリーダンスを知る 3 パントマイム 4 テーマに合わせて表現する							
	7月	4 現代的なリズムのダンス	1 リズムダンス 2 カウント&ステップ 3 作品作り			1 リズムの取り方 2 基本的なステップを知る 3 オリジナルダンスを作る 4 発表会・鑑賞会							
	9月					5 ダンスの世界を知る	1 動画鑑賞	1 プロのダンサーの映像から学ぶ 2 1年間のまとめと感想					
	10月			1月	2月			3月	【予習】 事前に活動する内容の情報を収集しておきましょう。				
	11月								【授業】 授業の説明をよく聞き理解し活動しましょう。また、疑問点等はその時間中になるべく解決しましょう。				
	12月	【復習】 その日の学習内容について振り返り、技能を習得しましょう。											
	画	1月	2月	3月	【予習】 事前に活動する内容の情報を収集しておきましょう。								
	画	2月	【授業】 授業の説明をよく聞き理解し活動しましょう。また、疑問点等はその時間中になるべく解決しましょう。										
	画	3月	【復習】 その日の学習内容について振り返り、技能を習得しましょう。										
評 価 の 観 点 ・ 評 価 規 準 ・ 評 価 方 法	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度							
	○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしてたり、健康・安全を確保したりしている。							
	○技能 フォークダンス、創作ダンス、現代的なリズムのダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。												
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末						
※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		1、2、3学期の平均							
備 考	・3人以上で開講します。												

教科	体育	単位数	3単位	対象	2年次	選択群	L群	
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）			副教材等	イラストでみる最新スポーツルール'22（大修館）		履修	必修修・ <input checked="" type="checkbox"/> 選択
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
日常生活の場から離れた自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、体験的な活動をする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのかかわりの深い野外の運動の特性について理解する。</li> <li>・自然の中での行動の仕方を身に付け、自然に親しむことができる。</li> <li>・事故防止のための綿密な計画と準備ができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動に興味があること。</li> <li>・自然にふれることの大切さやすばらしさを学ぼうと思う人</li> <li>・作業的能力を高めた人。</li> </ul>		
月	単元名	項目		学習内容				
学 習 の 年 間 計 画	4 5 6 7	1 野外活動とは  2 キャンプを楽しもう①	1 野外活動の歴史 2 野外生活行動の基本テクニック 3 野外遊びについて 4 農林水産物を育てる苦勞  1 ロープワーク 2 野菜作り 3 タープ・テント張り 4 火起こし 5 キャンプ体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・野外生活行動の基本を学ぼう</li> <li>・野外遊びについて知ろう</li> <li>・生活を支える農林水産物の仕組みについて学ぼう</li> <li>・ロープワークの基本形を覚えよう</li> <li>・夏野菜を育てよう</li> <li>・火起こしの仕方を学ぼう</li> <li>・キャンプを体験しよう</li> </ul>				
	9 10 11 12	3 アウトドアスポーツを楽しもう①  4 自然物でオリジナルグッズを作ろう	1 アウトドアスポーツの歴史・特性 2 ターゲットバードゴルフ 3 オリエンテーリング 4 サイクリング 5 フィッシング 1 ネイチャークラフト①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドアスポーツの代表的なスポーツについて学ぼう</li> <li>・ターゲットバードゴルフを体験しよう</li> <li>・オリエンテーリングを体験しよう</li> <li>・サイクリングを体験しよう</li> <li>・フィッシングを体験しよう</li> <li>・オリジナルリースを作ろう</li> <li>・イベントのリースを作ろう</li> </ul>				
1 2 3	5 自然環境を学ぼう  6 キャンプを楽しもう②	1 ネイチャークラフト② 2 モルックスポーツ  1 キャンプ体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹害について学ぼう</li> <li>・竹の作品作りに挑戦しよう</li> <li>・キャンプを体験しよう</li> </ul>					
学習方法	<p>【予習】 事前に活動する内容の情報を収集しておきましょう。</p> <p>【授業】 授業の説明をよく聞き理解し活動しましょう。また、疑問点等はその時間中になるべく解決しましょう。</p> <p>【復習】 その日の学習内容について振り返り、技能を習得しましょう。</p>							
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	○知識 自然の中での体験的な活動の方法を理化学化し、「する、みる、支える、知る」などの多様な関わり方を理解している。		・自己や仲間が行う活動内容の課題を発見し、主体的に思考し判断したことを、言葉や文章及び動作などで表したり、仲間や教師などに筋道を立てて伝えたりしている。			・互いに協力したり、自己の責任を果たしたりするなど、積極的に活動に参加し、他者と共生しようとしている。		
	○技能 野外の運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、自己の能力や適性等に応じて活動を選び、技や技能を習得している。					・一人一人の違いを大切にしようしたり、自己や仲間の体力や技能の程度等に配慮したりするなど、仲間と話し合う場面で合意形成に貢献しようとしている。		
評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末		
※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		1・2・3学期の平均		
備考	<p>※ 実習費が年間3,000円（各学期1,000円）必要となります。</p> <p>安全管理・用具等の都合により15人以下が望ましい。</p>							

スポーツVI

総合学科

教 科	保健体育	単位数	2単位	対象	2年次	選択群	I群	
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）			副教材等	イラストでみる 最新スポーツルール'22 （大修館）		履修	必修修・ <b>選択</b>
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路		
自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題をもって、体をほぐしたり、体力を高めたりするとともに、これらの運動を生活の中で実践することができるようにします。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動できる。</li> <li>・自己の体力や生活に応じて体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、互いに協力して、体づくり運動の実践を協力しようとする生徒を対象とします。</li> <li>・体育系の大学を希望している生徒を対象とします。</li> </ul>		
学習の年間計画	月	単元名	項 目	学 習 内 容				
	4月	・体づくり運動の起源と内容及び実践例	・体づくり運動の起源	・オリエンテーション				
	5月		・体づくり運動のねらい	・体操の歴史と特徴				
	6月	・体ほぐしの運動	・体づくり運動の実践例	・ボールを使つての体操				
	7月		・いろいろな動作での体ほぐし	・相撲、スクラムごっこ、手押し車リレー				
	9月	・体ほぐしの運動  ・体力を高める運動	・のびのびとした動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨガ体操</li> <li>・バランス歩き</li> </ul>				
	10月		・心が弾むような動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳躍</li> <li>・腕立てまわり</li> </ul>				
	11月		・相手の身体に気づく動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人組での体操</li> </ul>				
	12月		・大きな力を発揮する能力を高めるための運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人組での補強運動</li> </ul>				
	1月	・体力を高める運動  ・健康増進のための体操	・スピーディな動きを高める運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片足でのバランスくずし</li> </ul>				
	2月		・動きを持続したり、柔軟性を高めたりする運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三人組での補強運動</li> </ul>				
	3月		・競技別における補強運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球</li> <li>・バレーボール</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・陸上競技</li> </ul>				
	学習方法	<p>【予習】 練習方法を考えてきましょう。</p> <p>【学習】 説明をよく聞き理解し、実践していきましょう。</p> <p>【復習】 ノートを作成し、必ずその日の実施内容、反省を書き確実に理解しましょう。</p>						
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動の意義とその行い方を知っている。</li> <li>・体力を高める運動の意義と高め方を知っている。</li> <li>・体ほぐしの運動や体力を高める運動に即した運動の組み立て方を理解し、知識を身に付ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体力や生活に適した目標を設定し、運動を選んだり、見つけたりする。</li> <li>・グループで運動を構成したり、施設や用具を効果的に工夫する。</li> <li>・実施内容やその結果をノートに記録し、成果を確認する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の段階に応じて作戦を立てて、勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・仲間と協力し合って、課題解決の仕方や技能の高め方などについて教え合い励まし合う。</li> </ul>		
	評価方法		第1・2学期	第3学期	年度末			
	※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3	知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3	1・2・3学期の平均			
備考	・他の生徒との交流・協力が必須となるため、5人以上で開講							

## レクリエーション

総合学科

教科	保健体育	単位数	2単位	対象	3年次	選択群	T②群
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）		副教材等	イラストでみる最新スポーツルール'22（大修館）		履修	必修修・ <b>選択</b>
授業の概要		学習の到達目標			履修の条件・進路		
レクリエーションの特性を理解し、チームや自分の課題に適した練習方法やルールを工夫し、誰もが楽しめることを目標にゲームを行います。お互いに教えあったり、協力し合いながら仲間との交流を深めながら、技術を習得していきます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーションの特性を理解する。</li> <li>チームや自分に適した目標が設定でき、仲間と教えあったり、協力し合って練習やゲームができる。</li> <li>楽しんで取り組み、仲間との交流を深める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーションに興味がある。</li> <li>元気に楽しみ盛り上げることができる。</li> <li>仲間と協力して楽しませることができる。</li> </ul>		
学習の年間計画	月	単元名	項目	学習内容			
	4	1 レクリエーションの意義	1 レクリエーションとは 2 レクリエーションの機能	1 レクリエーションを考える 1 解放機能 2 身体機能 3 精神機能 4 レクリエーション実践活動			
	5						
	6	2 レクリエーションの体験	1 心とまぜ、心を通い合わせるレクリエーション	1 レクリエーションを考える（屋内用）			
	7						
	9	2 レクリエーションの体験	2 グループで協力して楽しむレクリエーション	1 レクリエーションを考える（屋外用）			
	10						
	11	3 レクリエーションの展開	1 レクリエーション援助の企画から運営	1 レクリエーションを考える（スポーツ）			
	12		2 対象に合わせてレクリエーションを考える	1 ルールを考える			
	1	3 レクリエーションの展開	2 対象に合わせてレクリエーションを考える	1 オリジナルのレクリエーションを考える 2 1年間のまとめと感想			
	2						
	3						
学習方法	<p>【予習】 資料から、ルールや練習方法を読み取っておきましょう。</p> <p>【学習】 チームや自分に適した目標を立て、仲間との交流を深めながら、練習やゲームを楽しみましょう。</p> <p>【復習】 自己評価表に記録し、次時の目標を立てておきましょう。</p>						
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーションの意義を理解し、取り組もうとしている。</li> <li>レクリエーションの内容を理解し、参加者の反応や状況を判断し、対応しようとしている。</li> <li>グループでそれぞれの役割を演じ、参加者を楽しませようとしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的にゲームに取り組み、楽しさや喜びを味わおうとしている。</li> <li>グループで教え合い、協力しながら取り組んでいる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間と話し合い、合意形成に貢献しようとしている。</li> <li>その場の状況に応じた対応の仕方や危険を予見して回避行動をとる行い方を理解し、健康・安全の確保をしている。</li> </ul>		
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末
※ 上記の観点を基に、規準を設け、日々継続的に数値化し、各学期とも評価する。		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		知識・技能：4 思考・判断・表現：3 主体的に学習に取り組む態度：3		1・2・3学期の平均	
備考							